

令和6年度 後期 教員用教育診断結果

R6. 12月実施

A(よく当てはまる)、B(当てはまる)、C(あまり当てはまらない)、D(全く当てはまらない)

	評 価 項 目	R6年度末 AB:CD	R6中間 AB:CD	R5年度末 AB:CD	R5中間 AB:CD	R4年度末 AB:CD	R4中間 AB:CD	R3年度末 AB:CD
1	教育目標の具現化に向けて具体的な方策が示されている。	100% ： 0%	100% ： 0%	86% ： 14%	85% ： 15%	100% ： 0%	84% ： 16%	89% ： 11%
2	各校務分掌が個人対応ではなく、組織として十分機能している。	64% ： 36%	71% ： 29%	76% ： 24%	65% ： 35%	73% ： 27%	68% ： 32%	65% ： 35%
3	水産高校としての特色をアピールしながら、小中学校や関係機関との連携がなされている。	100% ： 0%	100% ： 0%	100% ： 0%	90% ： 10%	92% ： 8%	92% ： 8%	92% ： 8%
4	学校は保護者や地域に開かれている。	100% ： 0%	100% ： 0%	100% ： 0%	100% ： 0%	92% ： 8%	92% ： 8%	77% ： 23%
5	校務の分担において教職員の意見が反映され機能している。	91% ： 9%	81% ： 19%	82% ： 18%	90% ： 10%	88% ： 12%	88% ： 12%	81% ： 19%
6	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができているか。	100% ： 0%	100% ： 0%	90% ： 10%	85% ： 15%	96% ： 4%	92% ： 8%	81% ： 19%
7	教職員の倫理観や服務への自覚が高い。	91% ： 9%	76% ： 24%	86% ： 14%	75% ： 25%	72% ： 28%	88% ： 12%	73% ： 27%
8	職員会議が有効に機能している。	91% ： 9%	90% ： 10%	90% ： 10%	90% ： 10%	92% ： 4%	96% ： 4%	73% ： 27%
9	事故・事件・災害に具体的に対応できるように危機管理体制が整っている。	100% ： 0%	90% ： 10%	90% ： 10%	90% ： 10%	96% ： 4%	96% ： 4%	96% ： 4%
10	地域の高校としての特色が、教育課程に反映され、日々の学習活動に活かされている。	100% ： 0%	100% ： 0%	95% ： 5%	90% ： 10%	96% ： 4%	95% ： 5%	81% ： 19%
11	授業が確立され学習効果が現れている。	91% ： 9%	86% ： 14%	90% ： 10%	85% ： 15%	88% ： 12%	73% ： 27%	62% ： 38%
12	学習意欲や基礎学力の違いを踏まえ、個々の生徒に対応した教育活動が展開されている。	77% ： 23%	86% ： 14%	86% ： 14%	80% ： 20%	58% ： 42%	73% ： 27%	69% ： 31%
13	マナーアップ、あいさつ運動等、基本的な生活習慣の指導の成果が現れている。	86% ： 14%	90% ： 10%	77% ： 23%	80% ： 20%	81% ： 19%	70% ： 30%	54% ： 46%
14	個々の生徒が抱えている問題や悩みに十分対応できている。	100% ： 0%	100% ： 0%	100% ： 0%	85% ： 15%	88% ： 12%	87% ： 13%	77% ： 23%
15	進路意識の向上への対応がなされ、効果が現れている。	91% ： 9%	86% ： 14%	90% ： 10%	80% ： 20%	77% ： 23%	82% ： 18%	58% ： 42%
16	生徒の進路実現に向けて、事前調査や職場開拓が積極的に行われている。	91% ： 9%	76% ： 24%	81% ： 19%	75% ： 25%	85% ： 15%	77% ： 23%	48% ： 52%
17	長期欠席・不登校生徒への対応が十分にされている。	100% ： 0%	95% ： 5%	90% ： 10%	95% ： 5%	92% ： 8%	91% ： 9%	76% ： 24%
18	教室や校内の清掃が十分で、清潔な学習環境にある。	82% ： 18%	86% ： 14%	82% ： 18%	95% ： 5%	81% ： 19%	87% ： 13%	65% ： 35%
19	各校務分掌(課・科・学年)が組織的に機能しており、系統的できめ細かな指導がなされている。	82% ： 18%	62% ： 38%	76% ： 24%	80% ： 20%	81% ： 19%	91% ： 9%	65% ： 35%
20	いじめの問題への取組について、組織的な対応がなされている。	100% ： 0%	95% ： 5%	100% ： 0%	100% ： 0%	100% ： 0%	100% ： 0%	92% ： 8%
		92% ： 8%	89% ： 11%	88% ： 12%	86% 14%	86% 14%	86% 14%	84% 16%

＜分析＞
全体的な数値については高い評価となっているが、別紙の記述アンケート結果もふまえ、対応・改善していかなければならない課題は以下の4点である。
①No. 2， 5， 19⇒持続可能な校内組織体制の確立、校務分掌配置、各分掌内での役割分担等
②No. 7 ⇒教育公務員としての服務規律遵守、倫理観の醸成
③No. 11， 12 ⇒日々の授業を核とした学習指導、上位者対策
④No. 15， 16 ⇒進路指導、キャリア教育における組織的指導体制と3年間を見据えた指導計画